

— 受賞者の声 —

昨年度4回発刊しました機関誌「非開削技術」技術報告36編のうち、編集委員会にて選出された優秀賞受賞者および、昨年11月28日に品川シーズンテラスカンファレンスで開催した第36回非開削技術研究発表会優秀発表者の表彰状の授与を6月24日の総会において行いました。

受賞された皆様よりよろこびの声をいただきました。

編集室

機関誌「非開削技術」技術報告表彰

【最優秀賞】

非開削技術132号掲載

「無排土推進が生み出すコンパクト設備の改築推進工法 —EXP工法の概要と施工事例報告—」



佐藤 徹 (株)イセキ開発工機)

川口 敏彦 (東亜グラウト工業(株))

本間 順 (大林道路(株))

木村 栄喜 (アームズ東日本(株))

この度、私どもの機関誌非開削技術への投稿報文に対し最優秀賞を賜れたこと、大変光栄に存じております。もともとEXP工法は、改築推進工法の中でも特徴のある工法ですが、本報文で記載しているEXP工法の施工事例は、共著者の所属する施工会社が本工法の特長を有効に活用し施工したものであり、その適用方法と施工内容が優れていることから、表彰されたものであると思っています。EXP工法を採用していただいた関係各位、施工会社にはこころより感謝申し上げます。この表彰を受け、今後も関連会社の方々と、この表彰にふさわしいEXP工法の施工実績を積み上げ、今後増加する管路老朽化対応に微力ながら貢献していきたいと考えています。改めて、本報文への表彰を授けていただけたこと、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

【優秀賞】



非開削技術131号掲載

「縦断方向曲線を利用した円弧推進 —アルティミット工法—」

須藤 洋 (機動建設工業(株))

この度は2026年度非開削技術表彰の優秀賞を賜り、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。また、ご推薦していただきました関係者の皆様、日頃からご指導いただいた諸先輩方、これまでお世話になりました方々に深く御礼申し上げます。

今回受賞した論文は弧状推進技術の一工法として、大中口径管における縦断方向曲線を利用した円弧推進について報告したものです。円弧状の線形となった目的は管路に存在する河川護岸の鋼矢板を回避するため、工法の概要と特長について施工事例を含めて紹介させていただきました。現在の施工実績は全て水道本管のさや管管路となっていますが、支障物を回避するという観点から自然流下を対象としない他のライフラインにも適用可能であり、今後も社会インフラ整備に微力ながら貢献できれば幸いです。

最後に、貴協会のますますのご発展を祈念いたしましてお礼の言葉とさせていただきます。

【優秀賞】



非開削技術133号掲載

「曲線施工で力を発揮するジャット工法」

羽部 孝信 (ジャット協会)

この度は、優秀賞にご選出いただき、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

推進工事に携わる者として、日頃の取り組みをこのような形で評価いただきましたことは、大変光栄であり、身の引き締まる思いでございます。この受賞に際し、ご協力いただいた関係者の皆様にも深く御礼申し上げます。

今回発表させていただいた内容は、小口径管曲線・長距離施工に特化した「ジャット工法」の特徴を施工実例とともに紹介しました。

近年では建設資材の高騰が続く中、曲線・長距離推進を採用するにあたり、マンホール設置数の削減や、建設費および維持管理費の低減が可能となります。また、地下埋設物や周辺環境の制約により施工が困難な箇所においても、柔軟なルート設定が可能であり、現場条件に応じた最適な提案・施工対応を実現できる技術となっております。

この受賞を励みとし、今後も技術力の向上に努めるとともに、安全で確実な施工を通じて、地域社会やお客様に信頼いただける工事を進めてまいります。

最後になりますが、貴協会の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、受賞に際してのお礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

【優秀賞】



非開削技術 134号掲載

「都市ガス供給システムの地震防災対策と非開削工法の役割」

北野 哲司（東邦ガスネットワーク株式会社）

この度は、2025年度非開削技術表彰において「優秀賞」という栄誉を賜り、誠に光栄に存じます。

選考に携わってくださった皆様、ならびに平素より当社の事業にご理解とご協力をいただいております関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

本稿では、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えたことを機に、都市ガス業界が歩んできた地震防災対策（予防・緊急・復旧）の変遷を体系的に整理いたしました。とりわけガス管の更新において、道路掘削を抑制し環境負荷を低減しつつ迅速な耐震化（レジリエンス強化）を実現する非開削工法について、当社の管路更新工事の約4割に適用される極めて重要な技術として紹介いたしました。

今回の受賞を大きな励みとし、今後も南海トラフ巨

大地震などの大規模災害に備え、非開削技術のさらなる高度化と普及拡大に努め、都市ガス業界の発展と地域の安心・安全に貢献していく所存です。

末筆ながら、貴協会の益々のご発展を心より祈念申し上げ、受賞のお礼の言葉とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

第36回 非開削技術研究発表会表彰

【最優秀賞】



「非開削によるシールド管路内の空洞調査・充填方法の開発と施工実績報告」

野村 和達（東京電力パワーグリッド株式会社）

この度は、第36回非開削技術研究発表会において最優秀賞を賜り、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。

今回発表した論文は、1960年代に建設されたシールド管路を対象に、非開削による空洞調査と充填を同時に実施する工法を開発し、現場適用した事例を報告したものです。

シールド管路は、シールド内部へ配管後、砂等で充填した設備ですが、経年に伴い内部に空洞がある可能性があり、送電容量不足を防ぐためには充填対策が必要です。

一方で、都市部の主要道路下に埋設されていることから、全面開削による対策は容易ではありません。

そこで既設マンホールから非開削で空洞の調査と充填を行う工法を開発し、その有効性を確認しました。

今回の受賞を励みとして、今後も現場の課題に向き合い、非開削技術のさらなる発展と安全・安心な社会インフラの維持に貢献できるよう努めてまいります。

最後になりますが、本研究の関係者の皆様に深く御礼申し上げるとともに、貴協会のますますのご発展を心より祈念し、受賞のごあいさつとさせていただきます。

写真速報

「非開削技術」技術報告表彰

授与者：(一社)非開削技術協会 森田弘昭会長



▲【最優秀賞】
川口 敏彦 氏 (東亜グラウト工業株)



▲【優秀賞】
須藤 洋 氏 (機動建設工業株)



▲【優秀賞】
羽部 孝信 氏 (ジャット協会)



▲【優秀賞】
北野 哲司 氏 (東邦ガスネットワーク株)

「第36回非開削技術研究発表会」表彰

授与者：(一社)非開削技術協会 森田弘昭会長



▲【最優秀賞】
野村 和達 氏 (東京電力パワーグリッド株)



▲【優秀賞】
藤井 花帆 氏 (九州大学大学院)